

## 令和7年度避難生活支援リーダー／サポーター研修の開催について

近年、災害の多発や避難の長期化に伴う災害関連死の増加が懸念されていることから、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材育成を目的として、内閣府主催の「避難生活支援リーダー／サポーター研修」を群馬県と高崎市が共同で実施します。

### 1 日時・会場

(日時) 令和8年3月14日(土) 10時～16時

15日(日) 10時～16時

(会場) 新町防災アリーナ(高崎市新町2330番地40)

### 2 参加者

研修受講者 約50名(自主防災組織、災害ボランティア団体、福祉関係者、大学生等)

オブザーバー 約20名(近隣自治体の防災士・災害ボランティア団体、県福祉部局職員等)

### 3 内容

避難所設営演習、多様な被災者の心情や状況の理解に関するワークショップ等(別紙参照)

講師：浦野 愛氏(レスキューストックヤード/常務理事)

辛嶋 友香里氏(ピースボート災害支援センター/現地コーディネーター) 他

### 4 参考

- 取材は全日程可能
- 高崎市から高崎記者クラブにも報道提供
- 1日目の昼食休憩時に、群馬県主催のキッチンカー派遣訓練を行う予定  
(キッチンカー派遣訓練については別途報道提供)

# 1 日 目

項目	概要
(1) 開会等 10:00~10:30 (30)	○開会挨拶 ○オリエンテーション ・研修実施の背景、期待されるリーダー／サポーターの役割 ・研修の概要
(2) プログラム1 多様な被災者の理解とその配慮 10:30~12:00 (90)	○講義 ・被災地・被災者への理解 ・災害時における要配慮者の立場例
	○演習 ・被災者と支援者のやり取りを再現した動画を紹介し、紹介された被災者の心情、困りごとを話し合う ・グループで検討した内容を発表・共有
12:00~13:00 (60)	休憩・昼食      キッチンカー派遣訓練
(3) プログラム2 避難所の課題と生活環境の整備 13:00~15:40 (160)	○講義 ・避難所に必要なスペースとその機能 ・一日の流れ、活動内容、運営する上での留意点 ・運営に関わる担い手の理解
	○演習 ・受付／情報コーナー／物資提供／食事スペース／寝床／洗濯物干しスペース、それぞれ避難所のスペースを再現 ・各スペースの巡回を行い、それぞれ「改善点」を話し合い、具体的な改善作業を行う ・各スペースの改善の発表と解説
(4) クロージング 15:40~16:00 (20)	・受講者同士のふりかえりとアンケート記入 ・2日目のアナウンス

※研修終了後  
16:00~16:10

○高崎市の防災の取り組み  
・車いす対応型シャワーの展示、紹介

## 2日目

項目	概要
(1) プログラム 3 対人コミュニケーション 10:00~12:30 (150)	○講義 ・避難所におけるコミュニケーションの目的、基本
	○演習 ・「被災者役」「リーダー／サポーター役」「観察者役」の3つの役となり、コミュニケーションの仕方を体験する ・グループでの演習結果を全体で発表・共有
12:30~13:30 (60)	昼食・休憩
(2) プログラム 4 運営の担い手との連携・協働の 必要性 13:30~15:40 (130)	○講義 ・課題・困りごとを解決するためのポイント ・被災者との情報共有、参加できる場づくり
	○演習 ・2日目午前中に検討した4つのケースについて、「リーダー／サポーターのできること」「被災者ができること」「自分たちが知っている地域で頼れる先」「その他頼れる先とその内容」を話し合う ・グループで検討した内容を全体で発表・共有、解説
(3) クロージング 15:40~16:00 (20)	・講師からのコメント ・名簿登録 ・修了証授与 ・受講者同士のふりかえりとアンケート記入